

国 語

科目名	単位数	学 科	学 年
国語総合	5単位	農業科 (畜産科)	1 年

教科書	明解国語総合 (三省堂)	副教材	頻出漢字 3000 (第一学習社)
-----	--------------	-----	-------------------

科目の目標	国語を適切に表現し、的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重する態度を育てる。
-------	--

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
1 学期	現代文 随想一 「ベトナムのコーヒー屋」 小説一 「オムライス」 詩 「シジミ」 古 文 古文入門 「児のそら寝」 随想 「高名の木登り」 漢 文 漢文入門 「漢文の世界へ」 「虎の威を借る」	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな文章を読み、筆者の考えや感じていることを理解する。 ・古文に触れ、作品の面白さを味わう。 ・漢文の句法を理解し、短文を読み解く。
2 学期	現代文 評論一 「魚は陸から離れられない」 随想二 「ツゴイネルワイゼン」 小説二 「バスに乗って」 短歌・俳句 「遠い片手」 「春のオルガン」 古 文 随想 「にくきもの」 物語 「筒井筒」 漢 文 漢詩 「静夜思」 「月夜」 語録 「論語の言葉 学問」	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな文章を読み、文章構成や筆者の考え、登場人物の心情や作品世界を味わう。 ・古文の内容が正確に読み取れるようにする。 ・漢詩を味わい、論語の内容を理解する。
3 学期	現代文 小説三 「羅生門」 随想三 「豊かな仕事言葉」 書く 「思いを述べる 忘れられないできごと」 古 文 和歌 「万葉集・古今和歌集・新古今和歌集」 漢 文 語録 「論語の言葉 人との関わり」	<ul style="list-style-type: none"> ・作品を読み、自分の生活との関連を考えたり、考えたことを的確に文章に表したりする。 ・和歌に描かれている世界を味わう。 ・論語を読み解く。
学習のポイント	<ol style="list-style-type: none"> 1 現代文、古文、漢文ともに繰り返し音読し、正確に読めるようにしよう。 2 文章の構成、筆者の意見、登場人物の心情等が読み取れるようにしよう。 3 自分の感想や意見を、自分の言葉で的確に表現できるようにしよう。 4 語句を覚えて使えるようにし、文学史、文法事項なども理解しよう。 	
備考		

評価の観点	関心・意欲・態度	国語に興味を持ち、言語活動を豊かにしようとして努力している。さまざまな作品に親しみ理解しようと努力している。			
	話す・聞く能力	自分の意見を筋道立てて発表できる。人の意見を聞きながら、自分との相違点などをまとめることができる。			
	書く能力	文章の構成を考え、的確な語句を用い、効果的な表現を取り入れて、丁寧に文章を書くことができる。			
	読む能力	語句、文章を正確に読むことができる。筆者の意見や登場人物の心情を理解しながら読むことができる。			
	知識・理解	古典文法や漢文の句法などを理解している。文学史の知識や語句の意味・用法などを増やそうと努力している。			

定期考査実施予定	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	学年末
	○	○	○	○	○

評価方法	定期考査、課題提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○ 課題提出 (取組状況、理解度の確認等) ○ 授業態度 (まじめな態度、積極的な発表等)
------	---

公 民

科目名	単位数	学科	学年
現代社会	2単位	畜産科	1年

教科書	高等学校 改訂版 新現代社会 (第一学習社)	副教材	改訂版新現代社会ノート (第一学習社)
-----	---------------------------	-----	------------------------

科目の目標	人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考察する力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。
-------	--

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
1 学 期	第1編 私たちの生きる社会 第2編 現代社会と人間としてのあり方生き方 第1章 青年期と自己の形成 第2章 個人の尊重と法の支配 第3章 現代の民主政治と政治参加の意義	・現代の社会がかかえる諸問題について理解する。 ・青年期の課題について自己の在り方を考える。 ・現代政治のしくみを理解する。
2 学 期	第4章 国際政治の動向と日本の役割 第5章 現代の経済社会と私たちの生活	・私たちの生活と政治経済や国家との関わりについて考察する。
3 学 期	第6章 国際経済の動向と日本の役割 第7章 民主社会に生きる倫理 第3編 とともに生きる社会をめざして	・国際社会において日本の果たすべき役割について考え、自己の生き方と関連させて考察する。
学 習 の ポ イ ン ト	1 教科書をしっかり読もう。 2 教科書の図版（グラフ・表・写真・絵）をよく見よう。 3 授業内容をよく聞いて理解しよう。 4 新聞・ニュースなどで、世の中の動きや問題点を知ろう。 5 常に「なぜ」という意識を持ち、自分で調べたり、考える習慣を身に付けよう。	
備考		

評 価 の 観 点	関心・意欲・態度	出席状況や授業の態度、ノート点検などを総合的に評価する。
	思考・判断・表現	人間としての在り方生き方について考察する力、公正に判断できるかどうかを定期考査で評価する。
	技能	長期休業中などの課題の提出状況、内容等を総合的に評価する。
	知識・理解	現代社会の基本的な問題についての知識が身についているかを定期考査で評価する。

定期考査 実施予定	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	学年末
	○	○	○	○	○

評価方法	定期考査、ノート提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○ 授業態度（真面目な態度、積極的な発表） ○ 課題提出（日常の課題及び長期休業中の課題） ○ 班学習での取組（話し合いの態度、積極的な発表）
------	---

数 学

科目名	単位数	学 科	学 年
数学I	2単位	農業科 (畜産科)	1 年

教科書	高校数学I 新訂版(実教出版)	副教材	新しい数学 基本ノート (中部日本教育文化会)
-----	-----------------	-----	-------------------------

科目の目標	基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。
-------	--

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
1 学期	ウォームアップ 1章 数と式 整式 実数	・ 中学校の内容の復習から学ぶ。 ・
2 学期	1章 数と式 方程式と不等式 2章 2次関数 関数とグラフ 2次関数の値の変化	・ 関数のグラフおよびグラフと方程式・不等式の関係について学ぶ。
3 学期	3章 三角比 三角比 三角比の応用	・ さまざまな図形の計量法を学ぶ。

学習のポイント	<p>1 第1章は、高校数学の全ての基本になります。繰り返し練習問題を解くことで、確実に定着させましょう。</p> <p>2 第2章は、まずはグラフの特徴をつかむことが大事です。図形的な意味を理解し、グラフを利用して問題を解けるようにしましょう。</p> <p>3 第3章は、三角形の辺の長さや角度に関する内容です。正しい図をかくことを心掛けましょう。</p> <p>4 日々の復習が大事です。しっかりと授業に集中し、自宅での学習を充実させましょう。</p>
---------	---

備考	
----	--

評価の観点	関心・意欲・態度	授業態度・出席状況およびノートや副教材等の提出物状況の評価
	思考・判断・表現	授業時における質問に対する対応や課題等の内容の評価
	技能	定期考査および単元テストから、問題を処理する能力の評価
	知識・理解	定期考査および単元テストから、基本的な考え方、原理、法則、用語、記号の意味の理解の評価

定期考査実施予定	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	学年末
	○	○	○	○	○

評価方法	<p>定期考査、ノート提出、授業態度等を総合的に評価する。</p> <p>○ ノート提出 (予習・復習及び整理状況の確認)</p> <p>○ 授業態度 (まじめな態度、積極的な発表)</p> <p>○ 小テスト (単元毎の小テストなど)</p> <p>○ 課題提出 (日常の課題及び長期休業中の課題)</p>
------	--

理 科

科目名	単位数	学科	学年
科学と人間生活	2単位	畜産科	1年

教科書	科学と人間生活 (啓林館)	副教材	サンダイヤル 科学と人間生活学習ノート (啓林館)
-----	---------------	-----	---------------------------------

科目の目標	現代社会では、科学技術がいたるところで生かされている。その科学技術がどのように発達してきたか、また人間生活とどのように関わっているのかを考え、科学技術とうまく調和した生活を送ることができる資質を身に付ける。
-------	---

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
1学期	序章 科学技術の発展 第1部 生命と科学 第1章 生物と光	<ul style="list-style-type: none"> 科学に関する関心を高める。 生物の基礎知識と応用例を知る。
2学期	第2部 物質の科学 第1章 食品と衣料 第3部 光や熱の科学 第1章 光の性質とその利用	<ul style="list-style-type: none"> 化学の基礎知識と、日常生活の利用について知る。 光の基礎知識と、日常生活での役割を知る。
3学期	第4部 宇宙や地球の科学 第2章 自然景観と自然災害	<ul style="list-style-type: none"> 自然災害のしくみを知り、災害に備える方法を考える。
学習のポイント	○ 科学という学問は、自然現象全般の理解が中心になります。そのためには理解力が必要です。理解力は、まずは国語力です。そして、国語力を鍛えるには読書が何よりです。できれば科学に関したものがよいのですが、積極的に読書することを勧めます。	
備考		

評価の観点	関心・意欲・態度	科学に興味を持ち、日常生活と関連付け考えようとしているか。				
	思考・判断・表現	学習したことを活用し新しいことを考え、自分の言葉で表現することができるか。				
	技能	実験の内容を理解し、主体的に参加できているか。				
	知識・理解	用語や現象等を正しく理解できているか。				
定期考査 実施予定	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	学年末	
	○	○	○	○	○	
評価方法	定期考査、ノート提出、授業態度、実験態度等を総合的に評価する。 ○ノート提出 (板書を写し、まとめられているか) ○授業態度 (まじめな態度、積極的な発表ができているか) ○実験 (意欲的な取組、実験結果の考察ができているか)					

保健体育

科目名	単位数	学科	学年
体育	3単位	畜産科	1年

教科書	最新高等保健体育 [改訂版] (大修館)	副教材	イラストでみる最新スポーツルール (大修館)
-----	----------------------	-----	------------------------

科目の目標	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、健康・安全を確保して、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てさせる。
-------	---

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
1 学 期	体づくり運動 (通年) 集団行動 新体力テスト、陸上競技 球技Ⅰ [個人的技能、集団的技能、ゲーム及び審判法] 【男子】(ソフトボール) 【女子】(バレーボール) 体育理論 (スポーツの歴史的発展と変容)	・ 自己の体力や生活に応じて取り組み、実生活に役立てる。 ・ 自己に適したペースを維持して走る。
2 学 期	球技Ⅱ [個人的技能、集団的技能、ゲーム及び審判法] 【男子】(サッカー・卓球) 【女子】(バスケットボール・テニス) 陸上競技 [中・長距離走] 校内マラソン大会 【男子】 8km 【女子】 4km 体育理論 (スポーツの技術、戦術、ルールの変化)	・ 作戦や状況に応じた技能や仲間と連携してゲームが展開できるようにする。
3 学 期	球技Ⅲ [個人的技能、集団的技能、ゲーム及び審判法] 【男子】 (バスケットボール・サッカー・卓球) 【女子】 (バレーボール・バドミントン・テニス) 体育理論 (オリンピックムーブメントとドーピング) (スポーツの経済的効果とスポーツ産業)	・ スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴について理解できるようにする。
学 習 の ポ イ ン ト	1 自らの特性を生かしたり、伸ばしたりする上で、能力等に応じて運動を選び、その運動を得意にしていくなどして生涯スポーツの基礎づくりをしよう。 2 集団としての行動を秩序正しく、能率的に行えるようにしよう。(5分前行動) 3 互いに協力して自己責任を果たそう。	
備 考		

評 価 の 観 点	関心・意欲・態度	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう自ら進んで運動しようとしている。公正、協力、責任などの態度を身に付けようとしている。健康・安全に留意して運動をしようとしている。
	思考・判断・表現	自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して、活動の仕方を考え、工夫している。
	技能	自己の能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して運動を行うとともに、運動の技能を高めている。自己の体力や生活に応じた体力を高めるための合理的な行い方を身に付けている。
	知識・理解	社会の変化とスポーツ、運動技能の構造と運動の学び方、体ほぐしの意義と体力の高め方に関する基礎的な事項を理解し、知識を身に付けている。

定期考査 実施予定	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	学年末
--------------	-------	------	-------	------	-----

評 価 方 法	出席状況、授業態度、運動の技能、体育理論の理解度等を総合的に評価する。 ○ 出席状況、授業態度・意欲 (授業の参加状況、意欲的でまじめな態度) ○ 運動の技能 (各種運動の技能の習熟度、審判法の理解度) ○ 体育理論の理解度 (理解度の確認テスト)
---------	---

保健体育

科目名	単位数	学科	学年
保健	1単位	畜産科	1年

教科書	最新高等保健体育 [改訂版] (大修館)	副教材	
-----	----------------------	-----	--

科目の目標	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てさせる。
-------	---

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
1 学 期	1 単元 現代社会と健康 健康の考え方と成り立ち 私たちの健康のすがた 健康に関する意思決定・行動選択と環境づくり 生活習慣病とその予防 食事と健康 運動・休養と健康	・健康の考え方の変化、個人 の意思決定や行動選択、 生活習慣病を予防する調和 のとれた生活の実践の必要 性を理解する。
2 学 期	1 単元 現代社会と健康 喫煙と健康 飲酒と健康 薬物乱用と健康 感染症とその予防 性感染症・エイズとその予防 欲求と適応機制 心身の相関とストレス 心の健康のために 交通事故の現状と要因	・個人や社会環境への対策、 感染症の対策、ストレスへ の対処法について理解を深 める。
3 学 期	1 単元 現代社会と健康 交通事故を防ぐために 応急手当の意義とその基本 日常的な応急手当 心肺蘇生法の原理とおこない方	・交通事故の防止策、応急 手当の正しい手順や方法に ついて理解する。
学 習 の ポ イ ン ト	1 心身の健康課題や健康に対する考え方の変化に対応するため、新聞・ニュース等に関心を持ちよく見よう。 2 教科書・ノートは忘れず持参し、板書等はノートに必ず取ろう。 3 提出物は期限を守り、確実に提出しよう。	
備考		

評 価 の 観 点	関心・意欲・態度	個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関心をもち、自ら健康で安全な生活を実践するため、意欲的に学習に取り組もうとしている。
	思考・判断・表現	個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関する課題の解決を目指して、科学的に思考し、総合的にとらえることにより、適切な意志決定を行い、選択すべき行動を適切に判断している。
	技能	
	知識・理解	健康・安全の意義を理解するとともに、現代社会と健康、生涯を通じる健康及び社会生活と健康について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身に付けている。

定期考査	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	学年末
実施予定		○		○	○

評 価 方 法	定期考査、ノート提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○ノート提出 (予習・復習及び整理状況の確認) ○授業態度 (まじめな態度、積極的な発表) ○課題・レポート提出 (日常の課題及び長期休業中の課題)
---------	--

芸 術

科目名	単位数	学科	学年
音楽I	2単位	農業科(畜産科)	1年

教科書	音楽I Tutti (教育出版)	副教材	なし
-----	------------------	-----	----

科目の目標	音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。
-------	--

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
1 学期	中学校の復習・楽典 歌唱 校歌 少年時代、世界に一つだけの花、上を向いて歩こう 心の瞳 器楽 ギター、発表会	・基本的な内容を身に付ける。 ・積極的に歌い、歌詞の意味や時代背景、世界各国の歌を知る。 ・基本的な奏法を学ぶ。
2 学期	鑑賞 中世・ルネサンス・バロック時代の音楽 歌唱 クラスの合唱曲 器楽 リコーダーアンサンブル 発表会	・クラシックについて学び曲の特徴を知る。 ・クラスで協力して一つの作品を仕上げる。 ・基本的な奏法を身に付け、合わせる楽しみを知る。
3 学期	鑑賞 古典派の音楽(ハイドン・モーツァルト・ベートーヴェン) 創作 音階を使った創作 器楽 風になりたい 発表会	・クラシックについて学び曲の特徴を知る。 ・積極的に創作する。 ・アンサンブルの楽しさを知る。
学習の ポイント	1 基本的な楽譜の読み方や書き方、演奏に対して、しっかり学ぼう。 2 すべての領域において主体性、積極性を持って活動しよう。 3 表現する楽しさや合わせる楽しさを感じ、音楽的な視野を広げよう。	
備考		

評価の 観点	関心・意欲・態度	音楽の幅広い活動を通して、音楽を愛好し、音や音楽に興味・関心を持つとともに、意欲的に活動しようとしているか。
	思考・判断・表現	感性を働かせて、音楽の諸要素を知覚し、音楽のよさや美しさを感じ取って創造的な音楽活動の工夫ができていないか。
	技能	自己解釈やイメージを表現するための技能を身に付け、それを生かして創造的に表現することができているか。
	知識・理解	多様な音楽の構成要素を感じ取り、歴史的背景とともに音楽の理解を深め、創造的に鑑賞等できているか。

定期考査 実施予定	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	学年末
--------------	-------	------	-------	------	-----

評価方法	授業内の小テスト(筆記)、実技テスト、ノート・ファイル提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○ ファイル(プリントの確認) ○ ノート(小テストの訂正など) ○ 確認テスト(各学期末に授業内で実施) ○ 課題提出(長期休業中の課題) ○ 授業態度(まじめな態度、積極性、発表会、練習態度)
------	---

芸 術

科 目 名	単 位 数	学 科	学 年
美術 I	2 単位	農業科 (畜産科)	1 年

教 科 書	美術 1 (光村図書)	副 教 材	
-------	-------------	-------	--

科目の目標	芸術の幅広い活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、芸術の諸能力を伸ばし、芸術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。
-------	--

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
1 学 期	絵画 基礎、立体感を出すには、ワイヤーフレーム、陰影 まとめ、紙コップを描く デザイン デザインの工夫、名前のデザイン ポスターとは、人権ポスターについて	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な絵画技法を習得する。 ・アイデアを出しデザインを工夫する。
2 学 期	絵画 読書感想画を描く デザイン 正 12 面体の制作	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な表現方法を試す。 ・立体的に表現するおもしろさを味わう。
3 学 期	絵画 抽象画とは、音を表現する 鑑賞 フェルメール	<ul style="list-style-type: none"> ・イメージを形に表現する。 ・好きな作品を調べ情報をまとめる力をつける。
学 習 の ポ イ ン ト	1 絵画技法を習得し、立体的に表現できるようにしよう。 2 自分の考えているイメージを形にしよう。 3 様々な作品を鑑賞しよさを発見しよう。	
備 考		

評 価 の 観 点	関心・意欲・態度	美術に関心を持ち、積極的に授業に取り組み、意欲的に表現し鑑賞することができる。
	思考・判断・表現	作品の主題を理解し、アイデアやイメージを膨らませ、表現の方法を工夫することができる。
	技能	技能を習得し、表現することができる。
	知識・理解	授業の内容を習得し、芸術文化への理解を深めている。鑑賞を通して感性を高め表現することができる。

定 期 考 査	1 学期中間	1 学期末	2 学期中間	2 学期末	学 年 末
実 施 予 定					

評 価 方 法	作品、ノート提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○授業プリントの提出 (授業内容の理解の確認) ○授業態度 (真面目な態度、積極的な発表など) ○課題提出 (日常の課題及び長期休業中の課題) ○鑑賞プリントの提出
---------	---

外国語（英語）

科目名	単位数	学科	学年
コミュニケーション英語 I	2単位	畜産科	1年

教科書	JOYFUL English Communication I（三友社）	副教材	
-----	-------------------------------------	-----	--

科目の目標	英語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養成するとともに、情報や考えなどを的確に伝えたりする能力を伸ばす。
-------	--

	学習項目	学習のねらい
1学期	Warm Up 1 Warm Up 2 Warm Up 3 Warm Up 4 Warm Up 5 Warm Up 6 Lesson 1 Morning Relay	アルファベットの復習 クラスルームイングリッシュ 一般動詞の肯定文・否定文・疑問文を理解し、使えるようになる。
2学期	Lesson 2 Dance! Dance! Dance! In Seoul Lesson 3 Can an Elephant Stand on Eggs? Lesson 4 Kurikindi	be 動詞の肯定文・否定文・疑問文、助動詞、命令文、進行形を理解し、使えるようになる。
3学期	Lesson 5 People Design	受け身、接続詞を理解し、使えるようになる。
学習のポイント	1 授業中、友だちと簡単な英語でやりとりできるようになる。 2 アルファベットを確認して、月名、曜日、数字を書けるようになる。 3 教科書の内容が理解できる。 4 「学習のねらい」の文法を使って、身の回りのことを英語で表現する。	
備考		

評価の観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。
	外国語表現の能力	簡単な英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを相手に伝えている。
	外国語理解の能力	英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。
	言語や文化についての知識・理解	背景にある文化などを理解している。

定期考査実施予定	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	学年末
	○	○	○	○	○

評価方法	定期考査、ノート提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○ノート提出（予習・復習及び整理状況の確認） ○授業態度（まじめな態度、積極的な発表） ○課題提出（日常の課題及び長期休業中の課題）
------	--

家 庭

科 目 名	単 位 数	学 科	学 年
家庭総合	2単位	農業科（畜産科）	1年

教科書	家庭総合 自立・共生・創造 (東京書籍)	副教材	家庭科ノート (愛媛県高等学校家庭科教育研究会)
-----	-------------------------	-----	-----------------------------

科目の目標	人の一生と家族・家庭・子どもや高齢者との関わりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識と技術を総合的に修得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。
-------	--

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
1 学 期	第1章 自分らしい人生をつくる 第7章 衣生活をつくる (実習) 被服製作—エプロン ホームプロジェクトの説明	<ul style="list-style-type: none"> ・人の一生と家族・家庭の役割について理解する。 ・衣生活について科学的に理解する。 ・エプロン製作を行う。
2 学 期	ホームプロジェクト（夏休み） (実習) 被服製作—エプロン 第7章 衣生活をつくる 第2章 子どもと共に育つ	<ul style="list-style-type: none"> ・衣生活の文化を学ぶ。 ・子どもの発達と保育について理解する。
3 学 期	第3章 高齢社会を生きる 第4章 共に生き、共に支える	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の生活と福祉について理解する。
学 習 の ポ イ ン ト	<ol style="list-style-type: none"> 1 将来の生活設計を考え、今の家庭生活に興味を持ちましょう。 2 家族の一員としての役割を果たすために、家族との会話を大切にしましょう。 3 基礎的・基本的な知識と技術を定着させるために、積極的に家事を手伝いましょう。 4 実践力を養うために検定やホームプロジェクト、家庭クラブ活動に参加しましょう。 	
備 考		

評 価 の 観 点	関心・意欲・態度	・授業に関心を持ち積極的に学ぶとともに、各分野において、技術習得に意欲的であるかを評価する。
	思考・判断・表現	・学習したことをもとに、家庭や地域の生活について課題を見出し、その解決を目指して思考を深めているかを評価する。
	技能	・各分野において必要な基礎的・基本的な技術を身に付けているかを評価する。
	知識・理解	・家庭生活の意義や役割を理解し、各分野において必要な基礎的・基本的な知識を身に付けているかを評価する。

定 期 考 査	1 学期中間	1 学期末	2 学期中間	2 学期末	学 年 末
実 施 予 定		○		○	○

評 価 方 法	定期考査、ノート提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○ ノート提出（整理状況の確認） ○ 授業態度（まじめな態度、積極的な発表） ○ 小テスト（単元ごとの確認テストなど） ○ 課題提出（日常の課題及び長期休業中の課題）
---------	--

農 業

科 目 名	単 位 数	学 科	学 年
農業と環境	4単位	農業科 (畜産科)	1 年

教 科 書	農業と環境 (実教出版)	副 教 材	なし
-------	--------------	-------	----

科目の目標	農業生物の育成と環境の保全についての体験的、探究的な学習を通して、農業及び環境に関する学習について興味・関心を高めるとともに、科学的思考力と課題解決能力を育成し、農業及び環境に関する基礎的な知識と技術を習得させ、農業の各分野で活用する能力と態度を育てる。
-------	---

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
1 学 期	畜産分野 ニワトリの飼育 1 飼育の計画 2 育すう ・初生びなの管理 ・幼びなの管理 ・中びなの管理 ・大びなの管理	栽培分野 1 農業学習と農業クラブ活動 2 栽培の基礎 3 夏野菜の栽培 ・ナス ・ピーマン ・スイカ ・トマト
2 学 期	3 産卵鶏の飼育 ・産卵鶏の特性 ・鶏の解体	
3 学 期	4 プロジェクト発表 5 環境調査と環境保全 ・野村環境 ・野村産業の畜産	4 秋・冬野菜の栽培 ・ハクサイ ・ダイコン ・キャベツ ・ニンジン
学 習 の ポ イ ン ト	1 農業学習は大きく分けると動物と植物の育て方を学びますが、その基礎・基本を学ぶのが「農業と環境」です。農業に興味・関心を持ち、学習しようと思う気持ちが湧いてきたら、この科目の目標はほぼ達成できたと考えていいと思います。 2 プロジェクト学習で授業を行います。ニワトリの飼育と野菜の栽培を行い、3学期末には研究をまとめてプロジェクトの発表会を行います。	
備 考	この科目は畜産分野と栽培分野を2単位ずつ学習します。	

評 価 の 観 点	関心・意欲・態度	プロジェクト学習や実習態度、出席状況を評価します。また、実習報告書を点検し、評価します。			
	思考・判断・表現	飼育及び栽培のプロジェクト学習を通して科学的な思考や判断ができたか評価します。			
	技能	飼育及び栽培のプロジェクト等を能率よく推進し、技術・技能が身に付くとともに、プロジェクト内容をまとめて発表できる表現力が身についたか評価します。			
	知識・理解	農業に関する基礎的な知識を身に付けるとともに飼育や栽培の基礎が習得できたか評価します。定期考査における知識の確認やプロジェクト学習を通して、農業現場で実際に役立つ知識が習得できたか評価します。			
定 期 考 査	1 学期中間	1 学期末	2 学期中間	2 学期末	学年末
実 施 予 定	○	○	○	○	○
評 価 方 法	定期考査、記録簿提出、ノート提出、授業態度、出席状況等を総合的に評価します。				

農 業

科 目 名	単 位 数	学 科	学 年
総合実習	3単位	農業科（畜産科）	1 年

教科書	なし	副教材	なし
-----	----	-----	----

科目の目標	農業の各分野に関する体験的な学習を通して、総合的な知識と技術を習得させ、経営と管理についての理解を深めさせるとともに、企画力や管理能力などを身に付け、農業の各分野の改善を図る実践的な能力と態度を育てる。
-------	---

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
1 学 期	1 ローテーション実習 ・大家畜 乳牛の体の特徴や日常の管理方法について ・中小家畜 豚や鶏の体の特徴や日常の管理方法について ・栽培 土作りや野菜・草花の日常の管理方法について	・各専攻班の内容を知る。 ・各専攻班の一般管理の技術と方法を理解する。
2 学 期	2 ローテーション実習 ・大家畜 飼料作物の栽培と調整について ・中小家畜 豚や鶏の繁殖・育成等の飼養管理方法について ・栽培 タマネギ苗や草花の栽培管理方法について	・各専攻班の状況に応じた知識、技術を知る。 ・各専攻班の状況に応じた対応を身に付ける。
3 学 期	3 ローテーション実習 ・大家畜 乳牛の毛刈りや調教について ・中小家畜 ポニー等の小動物の管理方法について ・栽培 野菜・草花苗の栽培と管理方法について	・各専攻班の管理ができる。
学 習 の ポ イ ン ト	1 総合実習は動植物を扱う科目です。適切な管理方法を身に付けよう。 2 服装は実習服を着用して行います。服装の不備は怪我につながるのできちんとしよう。 3 農場での記録もありますので筆記用具と野帳を必ず準備しよう。 4 危険を伴う実習もありますので先生の説明をよく聞き、機器の使い方を理解した上で、実習に取り組もう。	
備考	1単位は放課後、土日、祝祭日、長期休業中に実施する。	

評 価 の 観 点	関心・意欲・態度	実習態度、出席状況を評価します。また、実習報告書を点検し、評価します。			
	思考・判断・表現	農業実習において基礎的な知識を身につけ、適切な判断ができたか評価します。			
	技能	実習内容を理解し、効率よく実習ができる技能が身についたか評価します。			
	知識・理解	定期考査及び農業鑑定競技を実施し、農業現場で実際に役立つ知識が習得できたか評価します。			

定 期 考 査	1 学期中間	1 学期末	2 学期中間	2 学期末	学 年 末
実 施 予 定		○		○	○

評 価 方 法	定期考査、実習報告書、行事報告書、課題提出、出席状況等を総合的に評価する。
---------	---------------------------------------

農 業

科 目 名	単 位 数	学 科	学 年
農業情報処理	2単位	農業科（畜産科）	1 年

教 科 書	農業情報処理（実教出版）	副 教 材	Excel で学ぶ全商情報処理検定テキスト 3級
-------	--------------	-------	--------------------------

科目の目標	社会における情報化の進展と情報の意義や理解させ、情報に関する知識と技術を習得させるとともに、農業情報及び環境情報を主体的に活用する能力と態度を育てる。
-------	---

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
1 学 期	1 情報モラルとセキュリティ ・私たちの生活と情報 ・情報化社会のモラルとセキュリティ ・知的財産権の保護 2 ワードプロセッサの利用 ・日本語ワードプロセッサの利用 ・日本語ワードプロセッサの概要 ・ワープロの基本操作 ・タイピング練習	・情報化社会でのモラルやマナー、権利について学習します。 ・日本語ワードプロセッサの基本操作を身につけます。
2 学 期	3 情報モラルとセキュリティ ・個人情報の取り扱い 4 農業を支える情報 ・農業における情報の役割 5 ワードプロセッサの利用（文書作成） ・日本語ワードプロセッサの利用 6 表計算ソフトの利用 ・表計算ソフトの概要	・個人情報やデータについて学習します。 ・農業分野で情報システムがどのように役立つか学習します。 ・検定試験合格に向けて技術を身につけます。
3 学 期	・表計算ソフトの利用 7 プレゼンテーションソフトの利用 ・プレゼンテーションソフトの概要	・表計算ソフトやプレゼンテーションソフトを使って発表する技術を身に付けます。
学 習 の ポ イ ン ト	1 ネット上のマナー、モラルは情報化社会を生き抜くために不可欠なものです。授業で学んだことを意識してネットを利用できるようになりましょう。 2 課題にチャレンジして実社会で役立つ実践力を身につけましょう。	
備 考		

評 価 の 観 点	関心・意欲・態度	授業に集中して取り組むことができ、与えられた課題に積極的に取り組むことができているかを授業態度、出席状況、課題等の提出で評価します。
	思考・判断・表現	ソフトウェアを利用した情報処理能力を実習課題提出、実技テスト等で評価します。
	技能	ソフトウェアの操作、入力の高さ及び正確さを実習課題提出、実技テスト等で評価します。
	知識・理解	情報処理に関する基礎的な知識を身につけ、その役割について理解できているかを、定期考査、実技テスト、課題等で評価します。

定 期 考 査	1 学期中間	1 学期末	2 学期中間	2 学期末	学 年 末
実 施 予 定	○	○	○	○	○

評 価 方 法	定期考査、ノート提出、授業態度等を技能点を総合的に評価する。
---------	--------------------------------

総 合

科 目 名	単 位 数	学 科	学 年
高校基礎	1単位	農業科 (畜産科)	1 年

教 科 書	各種プリント (校内作成)	副 教 材	進路マップ マナトレ (ベネッセ)
-------	---------------	-------	-------------------

科目の目標	1 基礎学力向上と定着を図り、より幅広い進路選択を可能にする。 2 達成感を味わうことにより勉強することの意欲を高め、継続的に学びに向かう姿勢を作る。
-------	--

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
1 学 期	1 10級～7級の問題 (抜粋) 2 6級の問題 (国語、数学、英語)	・国語・数学・英語の基礎的・基本的な考え方を理解する。
2 学 期	3 6級の問題 (国語、数学、英語) 4 5級の問題 (国語、数学、英語) 5 4級の問題 (国語、数学)	・国語・数学・英語の基礎的・基本的な考え方を理解する。
3 学 期	6 4級の問題 (国語、数学、英語) 6 復習及び発展問題	・国語・数学・英語の基礎的・基本的な考え方を理解する。
学 習 の ポ イ ン ト	1 国語・数学・英語の基礎を学び直し、高校の授業にスムーズに移行できるようにします。 2 中学校時代の教科書も活用して、苦手分野を克服します。	
備 考		

評 価 の 観 点	関心・意欲・態度	出席状況や授業の態度、平常の課題などを総合的に評価する。
	思考・判断・表現	自ら考察を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用できているか、ノートやワークブックの内容等を評価する。
	技能	習得した知識や技術を活用できているか等を総合的に評価する。
	知識・理解	高校生の授業を学ぶ上で必要な基礎的な知識や考え方を理解しているかどうかを評価する。

定 期 考 査	1 学期中間	1 学期末	2 学期中間	2 学期末	学 年 末
実 施 予 定		○		○	○

評 価 方 法	授業態度や課題の提出状況等を総合的に評価する。 <input type="radio"/> 授業態度 <input type="radio"/> 課題提出 <input type="radio"/> ノートの整理状況
---------	---